

### 12.3.3 Some Implementation Issues

ビタビエラー訂正の基本的演算：加算、比較、選択(**ACS**:Add-Compare-Select)

→ 変形：比較、選択、加算(**CSA**:Compare-Select-Add)

CSAを用いたものを**Differential Viterbi algorithm**

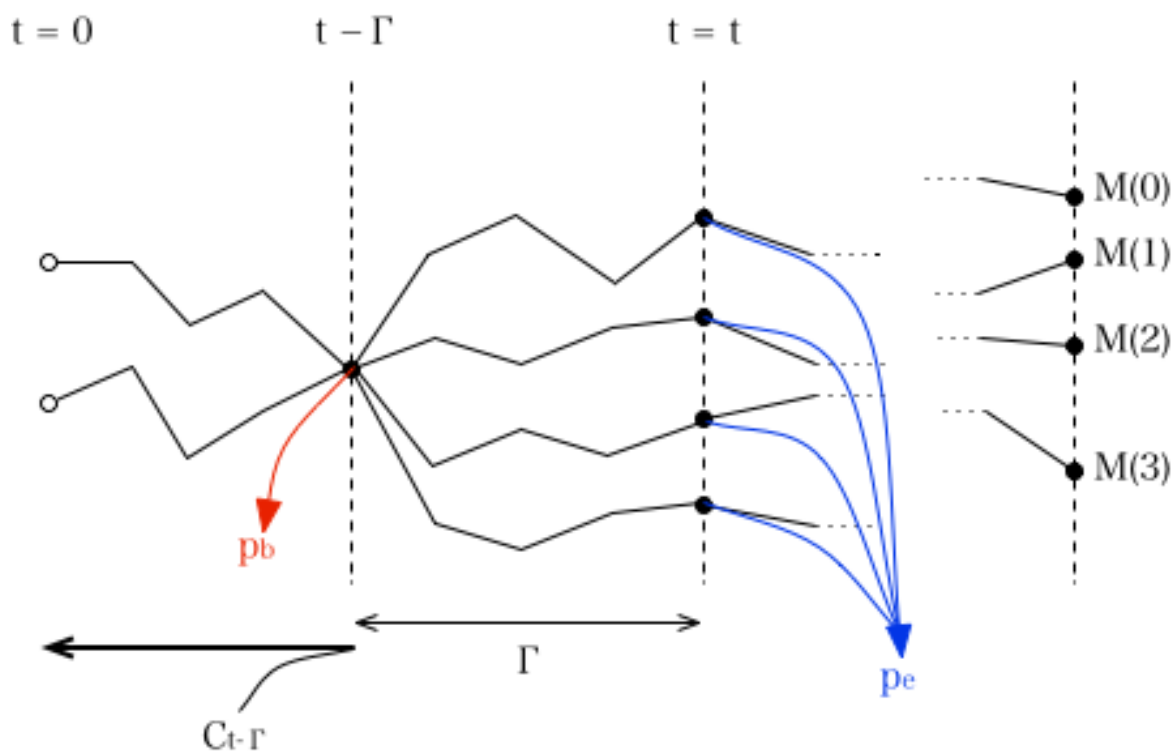
データストリームに対して、いくつかのステージにまたがりデコードを行う範囲を**decoding depth(デコーディング深度)**と呼び、記号 $\Gamma$ で表す

時間 $t$ まで出力が決まっていれば $t-\Gamma$ までデコード可能 → 出力 $C_{t-\Gamma}$

この有限のデコードにおける誤ったデコード判定を**truncation error**と呼ぶ

$\Gamma = \text{constraint lengths} \times (5\sim 10)$

デコードを行う範囲の始めと終わりにポイント $p$ を置く ( $p_b, p_e$ )



時間 $t$ において出力 $C_{t-\Gamma}$ を決定するとき、 $C_{t-\Gamma}$ を

- ・ 生き残りパスに沿ってランダムに選択してもよい
- ・ ベストメトリックを持つ生き残りパスに沿って選択してもよい
- ・ すべての生き残りパス中で最も発生しやすいものを選択してもよい
- ・ 任意のパスに沿って選択してもよい

**次回**

P.482 下から11行目 When the decision is... から